



2022 年 10 月 28 日

プレスリリース

一般社団法人日本原子力学会

日本原子力学会は、社会的関心の高い科学技術である原子力の広範囲にわたる 学術・技術 専門家集団として社会への情報提供を行うため、随時プレスリリースを行っています。
今回は、GX(グリーントランスフォーメーション)に向けた社会への貢献についてです。

GX(グリーントランスフォーメーション)に向けた 社会への貢献について

日本原子力学会 理事会

2022 年 8 月 24 日に開かれた政府の第 2 回 GX 実行会議では、原子力を不可欠な脱炭素エネルギーの一つに位置付け、専門家の意見も踏まえて、あらゆる方策の検討を加速する方針が示されました。同会議では、安全性の確保を大前提としたうえでの原子力の最大限活用に向けて、原子力発電所の再稼働、運転期間の延長、新たな安全メカニズムを組み込んだ次世代革新炉の開発・建設、バックエンドを進めるための国の積極的な関与が、検討事項として示されています。

これらの検討事項と関連分野に関し、私たちの考え方と社会への貢献について改めて取りまとめましたのでお知らせいたします。

とりまとめの内容につきましてはこちらをご覧ください。

<https://www.aesj.net/gx>

本会は、原子力の安全性向上と原子力科学技術の幅広い活用に関して、引き続き専門家として独立の立場から学術、技術の発展に取組み、成果を提供することで社会に貢献していく所存です。

以上